

おむすびを介した人と地域の結びつきと お年寄りとこどもたちの居場所創生事業の提案

キーワード: 寄り合い、トワイライトステイ、高齢者の健康、こども食堂

65歳以上=1/3 19歳未満=1/6

地域に増える高齢者と増やしたいこども

*秋田市人口統計(平成27年)より。

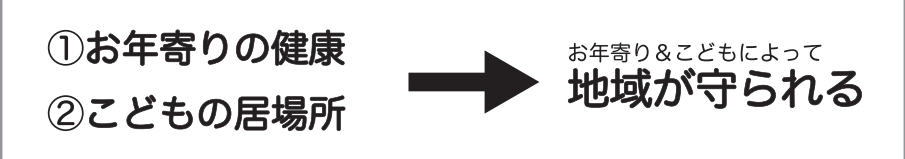
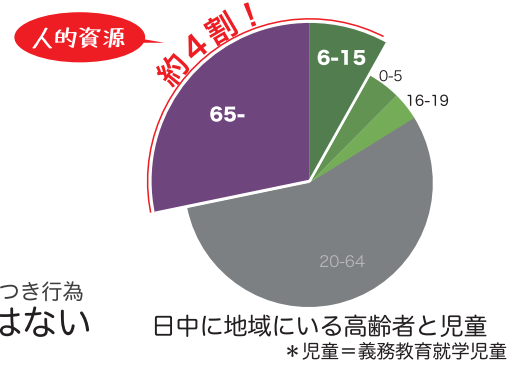
高齢者の約14%は単身世帯(12,030人)平成22年秋田市国勢調査報告より。

独居老人 孤食でうつ病発症 2.7倍

*東大研究チーム発表。女性は1.4倍。

小1の壁 小4の壁 こどもの孤食 うろつき行為
こどもの貧困 6人に1人 / 夕方以降の子どもの居場所はない

*厚労省「国民生活基礎調査」(平成21年)より。



①お年寄りの健康を守る

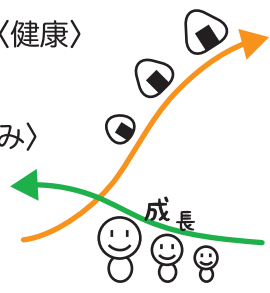
寄り合い(健康・共食・楽しみ・興味関心・やりがい)プログラム

- 保健師さんによる健康チェック (健康)
- 簡単な体操 (健康・楽しみ)
- みんなでお昼ごはん (共食・楽しみ)
- 趣味の時間 (楽しみ・興味関心)
- おむすび作りの時間 (やりがい)

②こどもの居場所をつくる

こどもおむすび食堂(食・遊び・学び・居場所)プログラム

- おむすびの無料提供(高校生まで) (食)
- トワイライトステイ (遊び・学び・居場所)
- 片付け・場所作り (学び)
- 宿題・勉強補助 (学び)
- お年寄りへの新情報提供 (遊び・学び)



お年寄りはこどもにおむすびを
こどもはお年寄りに生きがいを



このサイクルを回しながら
関係するものを「つくる」

◎ 米づくり

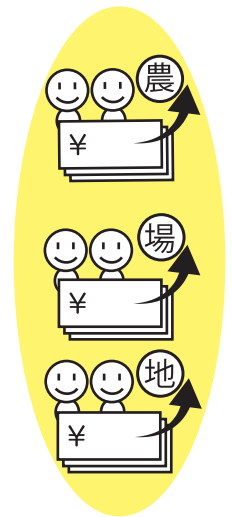
休耕地の活用 農家の副収入アップ
農業体験 アグリツーリズムの開発
ブランディング

◎ 場づくり

空き家・空き店舗の活用 改修
地域環境 世代を超えた交流の場

◎ 地域づくり

景観保全 地域ブランド開発
観光誘致 民泊 新しい住民



余剰を還元



おむすび食べてごろんとする場所
そのはじめての第一歩 . . . **おむすびごろりん** を提案します